



県より復旧計画が示され、来年度は2学期からの授業再開ということになりました。みんなそろって学習できる日を楽しみにしながら、頑張っていきましょう。

## 小学部(知的障害部門)

南支援学校での生活にも徐々に慣れ、10月下旬から学部集会を再開しました。先日は、養護教諭の風邪予防の話があり、みんなで手洗いの曲に合わせて、手のひらや手の甲、手首などを順番にこすっていきました。曲の最後までしっかり手をこすると、教室に現れていたばい菌



が逃げ出して行きました。手洗い学習を日々の生活に生かして、元気に過ごしていきたいと思います。

11月15日に、南支援学校の中学部2年生からヒマワリの種のプレゼントがありました。小学部が使用しているプレハブ棟の前の花壇で中学部が育てていたヒマワリからとれた種だそうです。各クラスを生徒が訪れ、短時間でしたが、交流のひとつをもちことができました。



## 高等部(知的障害部門)

職業コース3年生は修学旅行で日本理化学工業に行ってきました。この会社はチョークの製造をしています。有名なのは、障害者雇用を始めて59年、7割が知的障害のある社員で商品作りをしているということです。工場内は社員が能力を発揮できるように、工夫改善されていて、全員が作業時間内集中して仕事をされていました。主力商品のチョーク以外に、窓にも書ける水性クレヨン「キットパス」の製造もされていました。

早速キットパスを購入して帰り、7月の豪雨により被災してプレハブ校舎になった倉敷まきび支援学校を明るくするために、また真備町を元気にするために、学年全員で窓にメッセージを書きました。「がんばろうまきび! まけるなまきび!」



## 中学部(知的障害部門)



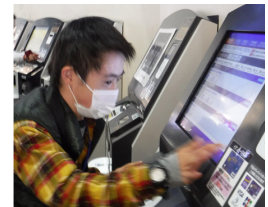
11月14日、2年生は近くのレストランまで歩いて行き、ハンバーガーなどを買いました。事前にお金の出し方を学習したり、メニューを決めたりしていたので、スムーズに買うことができました。店で食べるクラスと学校に持ち帰って食べるクラスがありましたが、どちらも美味しくいただくことができました。

11月22日、1年生は事業所見学で、路線バスを利用して、就労継続支援B型事業所「大樹倉敷作業所」を訪問しました。利用者の方が働いている様子を見学したり、実際の作業を体験したりして、真剣に仕事をする事の大切さを学びました。



## 肢体不自由部門

11月は各学部で校外学習に取り組みました。小学部2・3年生は、コミュニティバスを利用してマルナカ早島店へ行き、店で働く人々の仕事を調べました。小学部4年生は徒歩で深砂公園へ行き、紅葉が美しい公園の中を歩いたり、どんぐりを拾ったりして楽しい1日を過ごしました。中学部・高等部はイオンモール岡山へ行きました。事前にみんなで決めておいた映画のチケットを、機械を操作して買う体験もしました。



30日の文化祭では、小学部はステージ発表、中学部・高等部は販売を行いました。たくさんの保護者、お客さんに来ていただき、笑顔いっぱいの1日になりました。

